

2020 年 6 月 30 日

使用済みプラスチックの再資源化事業に取り組む新会社 「株式会社アールプラスジャパン」設立

～業界を超えた 12 社による共同出資会社～

～米国バイオ化学ベンチャー企業・アネロテック社の技術を活用し、
環境負荷の少ない効率的なプラスチック再資源化技術の開発に挑戦～

東洋紡(株)は、サントリーMONOZUKURI エキスパート(株)、レンゴー(株)、東洋製罐グループホールディングス(株)、J&T 環境(株)、アサヒグループホールディングス(株)、岩谷産業(株)、大日本印刷(株)、凸版印刷(株)、(株)フジシール、北海製罐(株)、(株)吉野工業所のプラスチックのバリューチェーンを構成する 12 社で、持続可能な社会の実現に向けて、プラスチック課題解決に貢献すべく、使用済みプラスチックの再資源化事業に取り組む共同出資会社、株式会社アールプラスジャパン(代表取締役社長:横井恒彦、所在地:東京都港区)を設立し、6 月から事業を開始しました。

今後も(株)アールプラスジャパンは広く出資を募る予定です。現在、住友化学(株)なども出資への検討を進めています。



東洋紡グループは、創業者・渋沢栄一の子孫の精神を受け継いだ企業理念『順理則裕』(なすべきことをなし、ゆたかにする)のもと、創業以来一貫して社会課題の解決に寄与する事業活動を旨とし、さまざまな製品・技術を提供してきました。主力のプラスチック製品では、リサイクル樹脂や植物由来原料の使用比率の向上に注力するとともに、高い機能性を保持するバイオ樹脂の実用化に取り組むなど、環境負荷を低減する製品・技術の積極的な展開を通じて、持続可能な社会の実現に貢献していくことを目指しています。

当社は、米国バイオ化学ベンチャー企業・アネロテック社が開発を進める、木材からポリエステル原料を作る技術に注目。2017 年からは、同社がサントリーグループを中心とした国内外各社とともに実施中の、植物由来原料 100%使用ペットボトルの開発プロジェクトに参画しています。このプロジェクトで生まれた技術を応用することで、使用済みプラスチックを効率的に再資源化できる可能性が見出されており、幅広いプラスチックの循環利用に役立つ画期的な手法として普及に期待しています。

■使用済みプラスチックの再資源化技術について

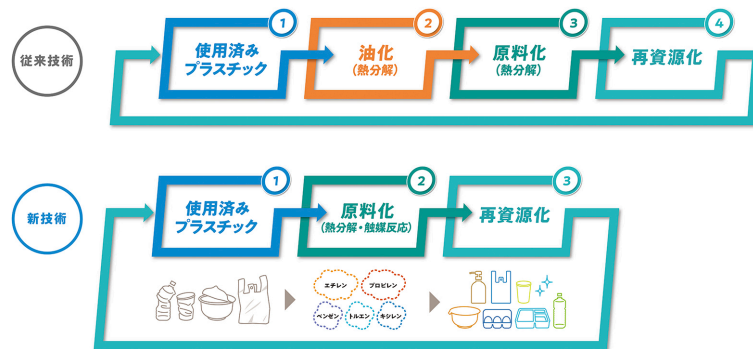
ペットボトル以外のプラスチックは、現在国内では多くが燃焼^{*1}されていると言われています。今回の技術は、ペットボトルを含むその他一般のプラスチックを、直接原料(ベンゼン・トルエン・キシレン・エチレ

ン・プロピレンなど)に戻すケミカルリサイクル※2の技術です。

従来の油化工程を経由するケミカルリサイクルよりも少ない工程で処理でき、CO2 排出量やエネルギー必要量の抑制につながるものと期待しています。この技術が確立できれば、より多くの使用済みプラスチックを効率的に再生利用することができると思っています。

※1: 焼却時に発生する熱を回収し、発電や熱供給に活用するサーマルリカバリー(熱利用)を含む

※2: 使用済みの資源をそのままではなく、化学反応により組成変換した後にリサイクルする



今回設立した(株)アールプラスジャパンは、アネロテック社とともに、この環境負荷の少ない効率的な使用済みプラスチックの再資源化技術開発を進めます。世界で共通となっているプラスチック課題解決に貢献すべく、回収プラスチックの選別処理、モノマー製造、ポリマー製造、包装容器製造、商社、飲料メーカーなど業界を超えた連携により、2027年の実用化を目指していきます。

■会社概要

- ・会社名: 株式会社アールプラスジャパン
- ・事業開始: 2020年6月5日
- ・本社所在地: 東京都港区台場2-3-3
- ・代表取締役社長: 横井恒彦
- ・事業内容: 使用済プラスチックの再資源化技術の開発・実用化推進

■アネロテック社 (Anellotech Inc.) について

2008年創業。米国ニューヨーク州パールリバーに本社・研究開発機能をもつバイオ化学ベンチャー企業。非食用の植物由来原料から石油精製品と同一性能を持つベンゼン・トルエン・キシレンを生成する技術開発を進めている。

■東洋紡グループの CSR 活動

<https://www.toyobo.co.jp/csr/>

以上

<お問い合わせ先>
東洋紡株式会社
サステナビリティ推進部 広報グループ
(本社) 電話:06-6348-4210 FAX:06-6348-3443
(東京) 電話:03-6887-8827 FAX:03-6887-8829
E-mail: pr_g@toyobo.jp